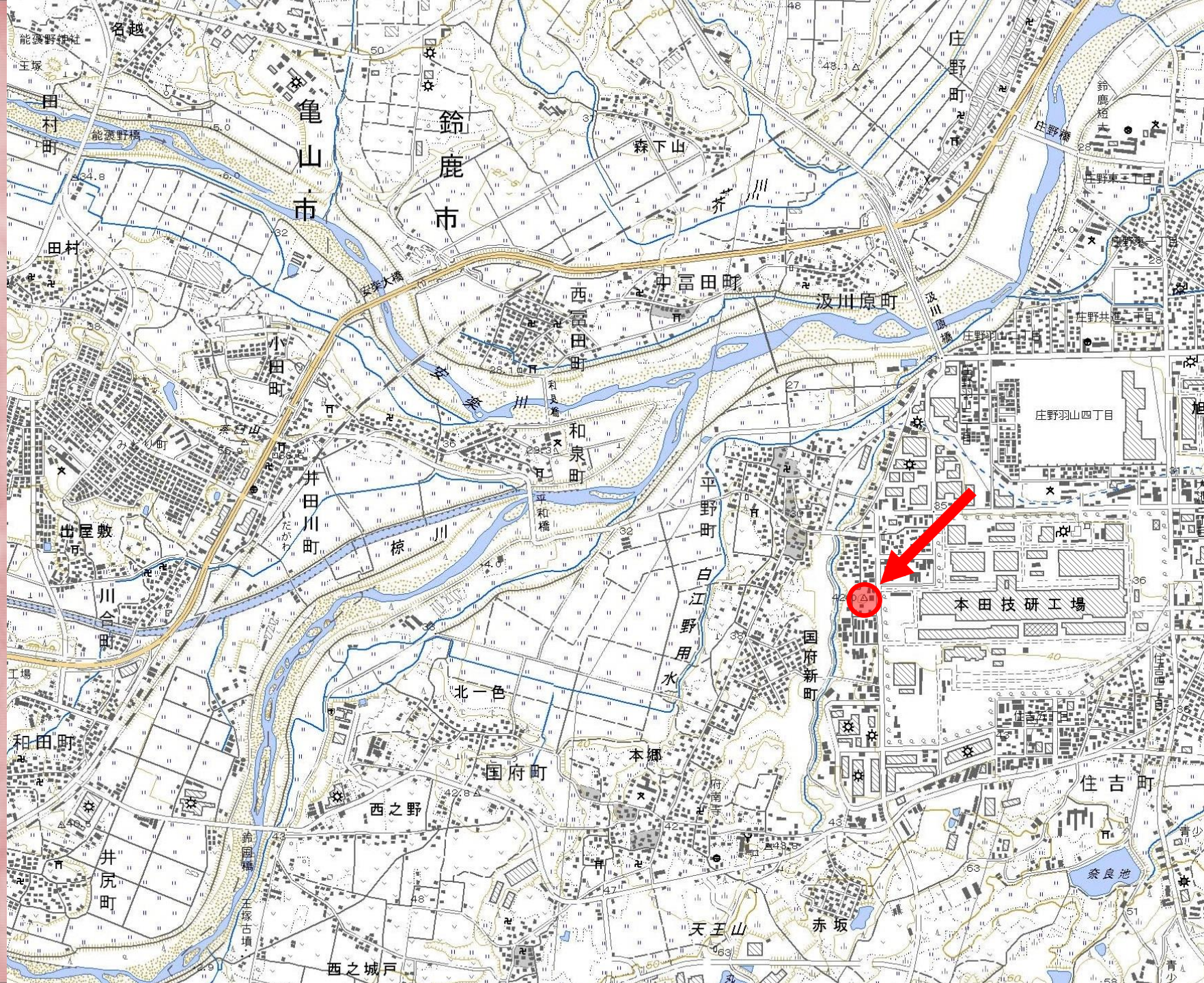
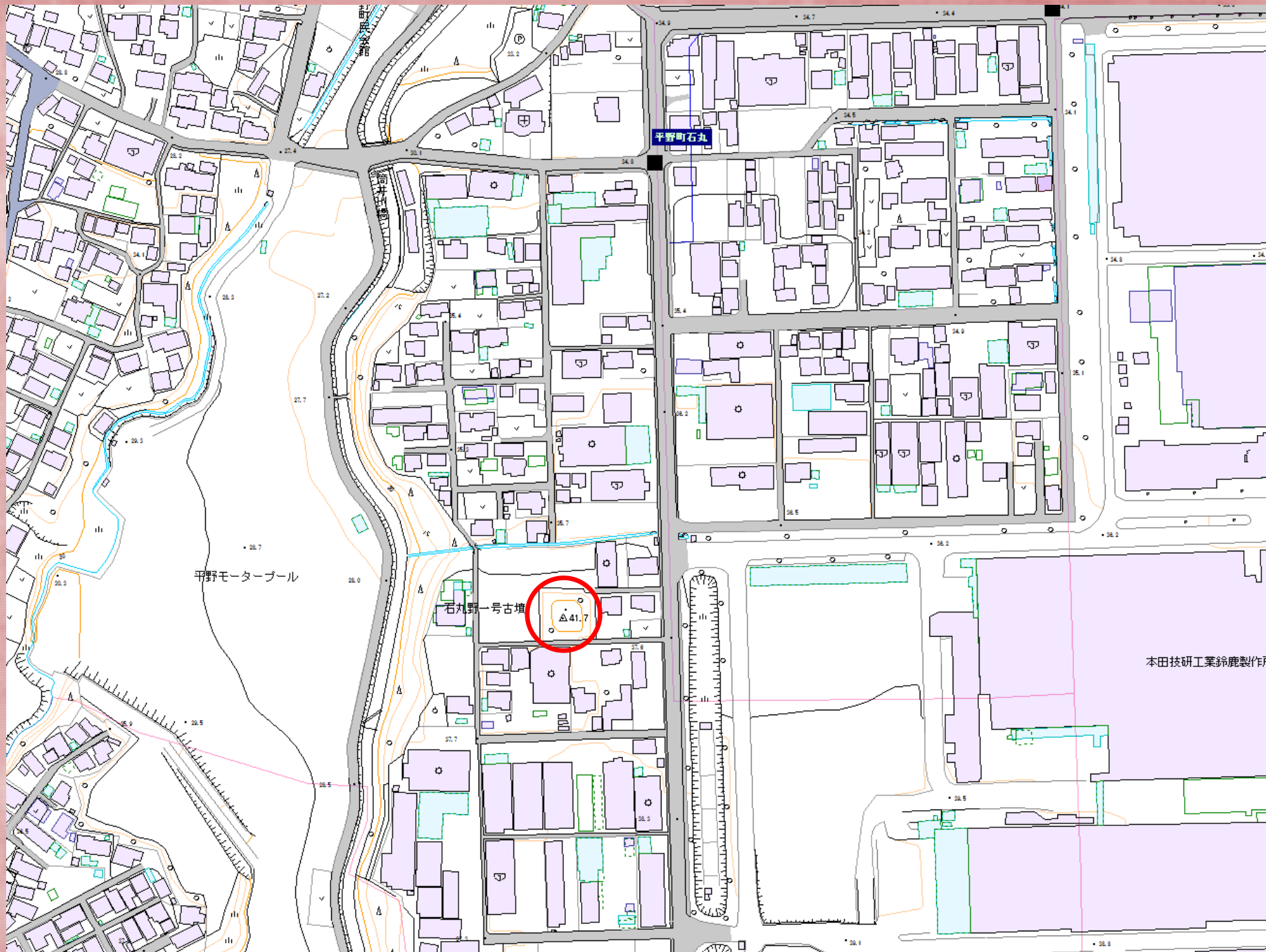


石丸野1号墳の調査

鈴鹿市考古博物館 藤原秀樹





石丸野一号古墳

石丸野一号古墳

五世紀約千五百年前この付近を
石丸野といひ古墳群があつた
この古墳はもと全長四六八mの
前方後円墳であつたが前方部を
失つてゐる 後円部径三四三m
高さ一〇m 浅間神社とまつて
「富士山さん」と称してゐる
大さきから見ても相当有力な
古代豪族墓といえる。

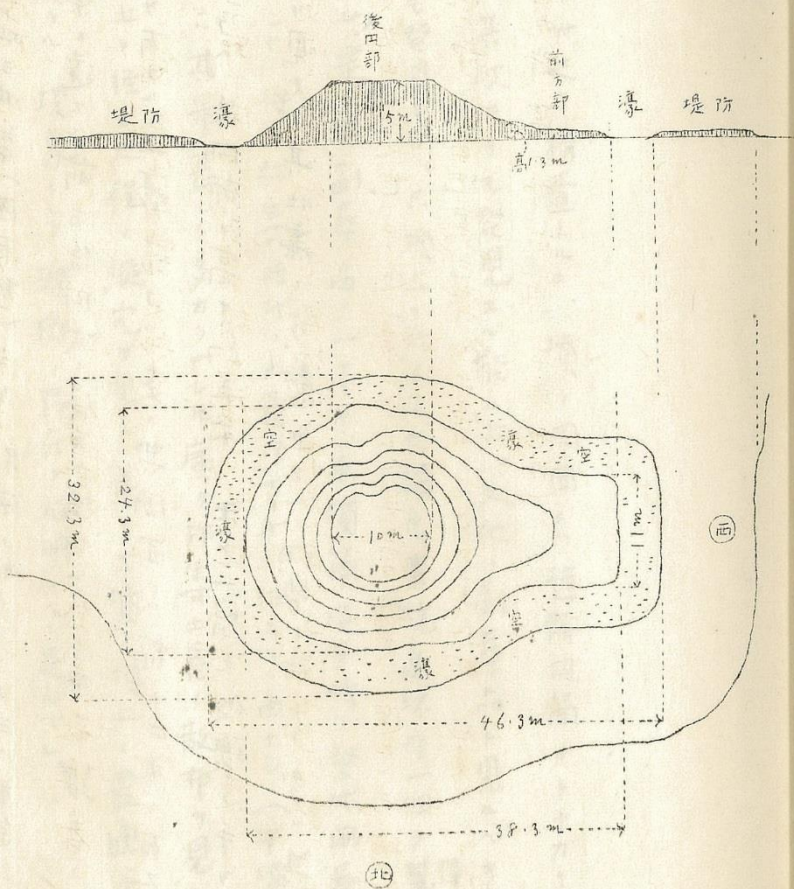
三重縣
鈴鹿郡 國府村 考古誌 考

三重野主人 鈴木敏雄 著

大字平野之部

大字平野、同地田面多し、稍丘陵ヲナセル地ニ人住アリ、其東方ニ鈴鹿川、文流ニ偏シ、細流アリ、其細流ノ東方ニ再ヒ丘陵地トナル、即チ字石九野及丸山ノ地也、コノ地ニ一帯、河シモ、其信月數丈ニ達シ、洪積層ニシテ最上部、赤色土層、ニ尺乃至數寸、石復セルヲ見ル。

一、石九野第一跡古墳（平野地内）



大字平野第一跡古墳

石丸野第一號古墳 (平野地内)

鈴鹿郡國府村大字平野字石丸野古墳

同地一四三四番 (國有林) ニアリ。別圖ノ如ク長サ三八米余、幅二四米余ニ達スル前方後円式ニ属スル墳ニシテ、周囲ニハ繞ラスニ幅四米ヲ有スル空濠ヲ以テシ、更ニ其周囲ニハ幅十二米ヲ有スル堤防ヲ以テス。後円部ノ高サ約五米。未タ一指モ破壊ノ手ヲ加ヘシ跡ヲ見ズ。其壯麗ニシテ整然タル、伊勢ニ於イテ多ク其ノ比ヲ見ズ。

今附近ヲ精査スルニ、墳ノ周囲ニハ埴輪円筒ナドナカリシニヤ其破片ヲモ發見スル能ハズ。又他ニ副葬品ト見ルベキモノヲモ發見セズ。只頂上ニ於イテ赤褐色素焼高坏片一個ヲ得タリ。但シ、是ハ其副葬品ノ一ナリヤ、本墳築造當時ノ祭式用器具ナリシヤ、将又弥生式時代ノ土器片ナリヤハ証スルニ由ナシ。(本墳附近ニハ其量甚シク多カラザレドモ廣ク弥生式土器ノ散布ヲ見ル。) 頂上ニ徑三尺程ノ縦穴ヲ見ル。蓋シ古墳ノ頂上ニ最通俗ニ見ラル、現象ニシテ壙槨ノ存在ヲ証明スルニ足ルベシ。

里人云、『今ヨリ四十年程以前ニハ頂上ニ小祠アリテ浅間神社ト称セリ。當時餅投等ヲ祭祀ノ餘興トシテ行ヘルコトアリ。』トサレバ其當時マデハ茲ニ神祠アリシコト明ナリ。里人本墳ヲ『フジヤマ』ト通称ス。蓋シ其姿容ノ富士山ニ似タル為カ。又ハ其頂上浅間神社ヲ奉祀セシ為カ。

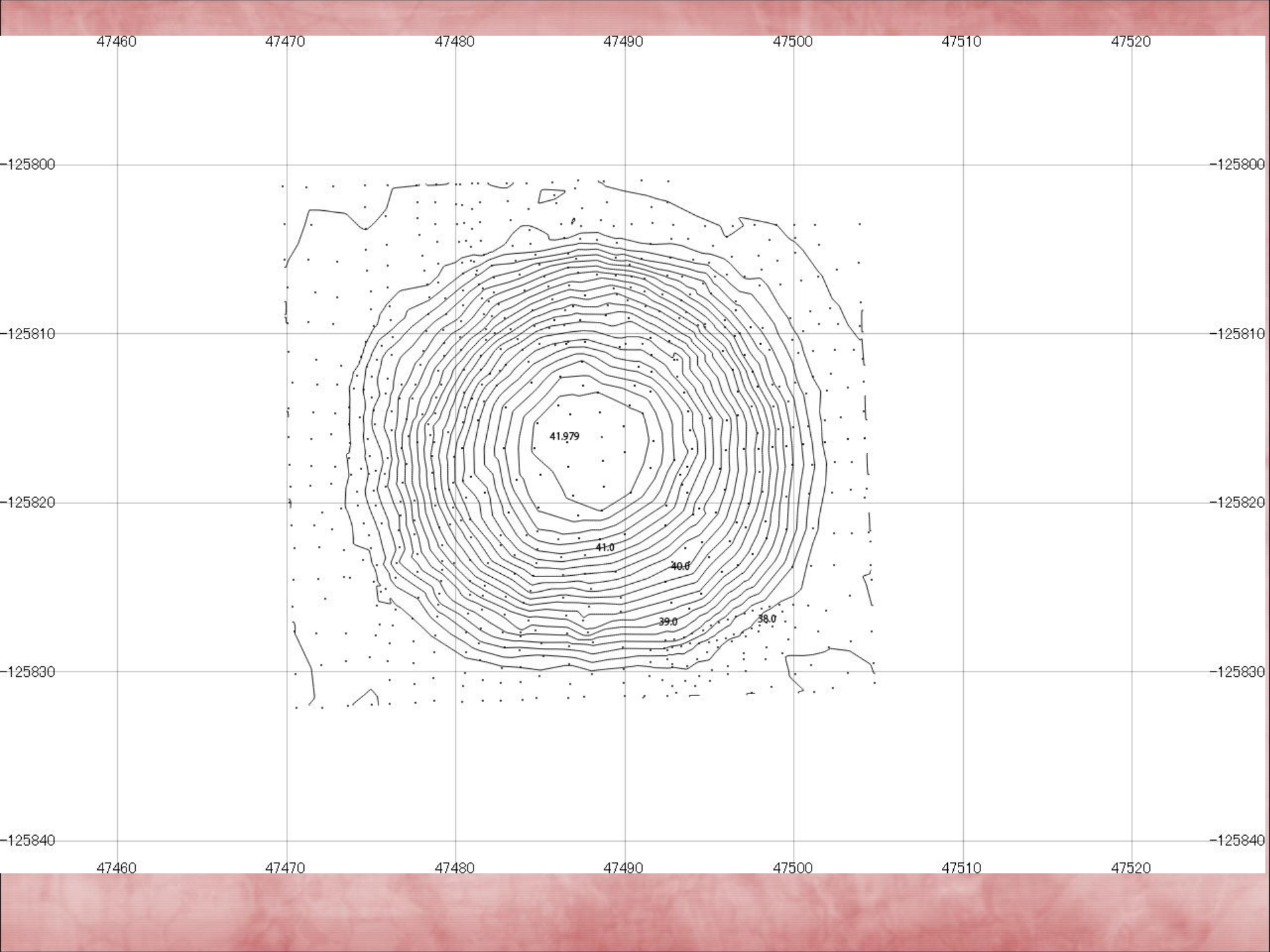
因ニ云フ大字国府字石丸野一帯三十町步程ハ數年前マテハ官林ナリシヲ拂下ケラレテ今全部耕地トナル。而シテ今亦大字平野地字石丸野十二町步拂下ケラレテ全部開墾セラレントス。平野ノ有志本墳ノ破壊セラレンコトヲ惜メリ。區長渡邊橋五郎氏偶來ツテ余ニ事ヲ談ズ。余即チ縣ノ史蹟名勝天然紀念物調査會ノ命ニヨリテ昭和三年四月廿一日同地一帯ヲ調査シ、帰着直チニ其本墳ノ必ズ保存セラルベキモノナルコトヲ上申ス。即チ同五月二日付會長名ヲ以テ左記ノ通り通牒ヲ国府村長宛發送セシ旨通達アリ

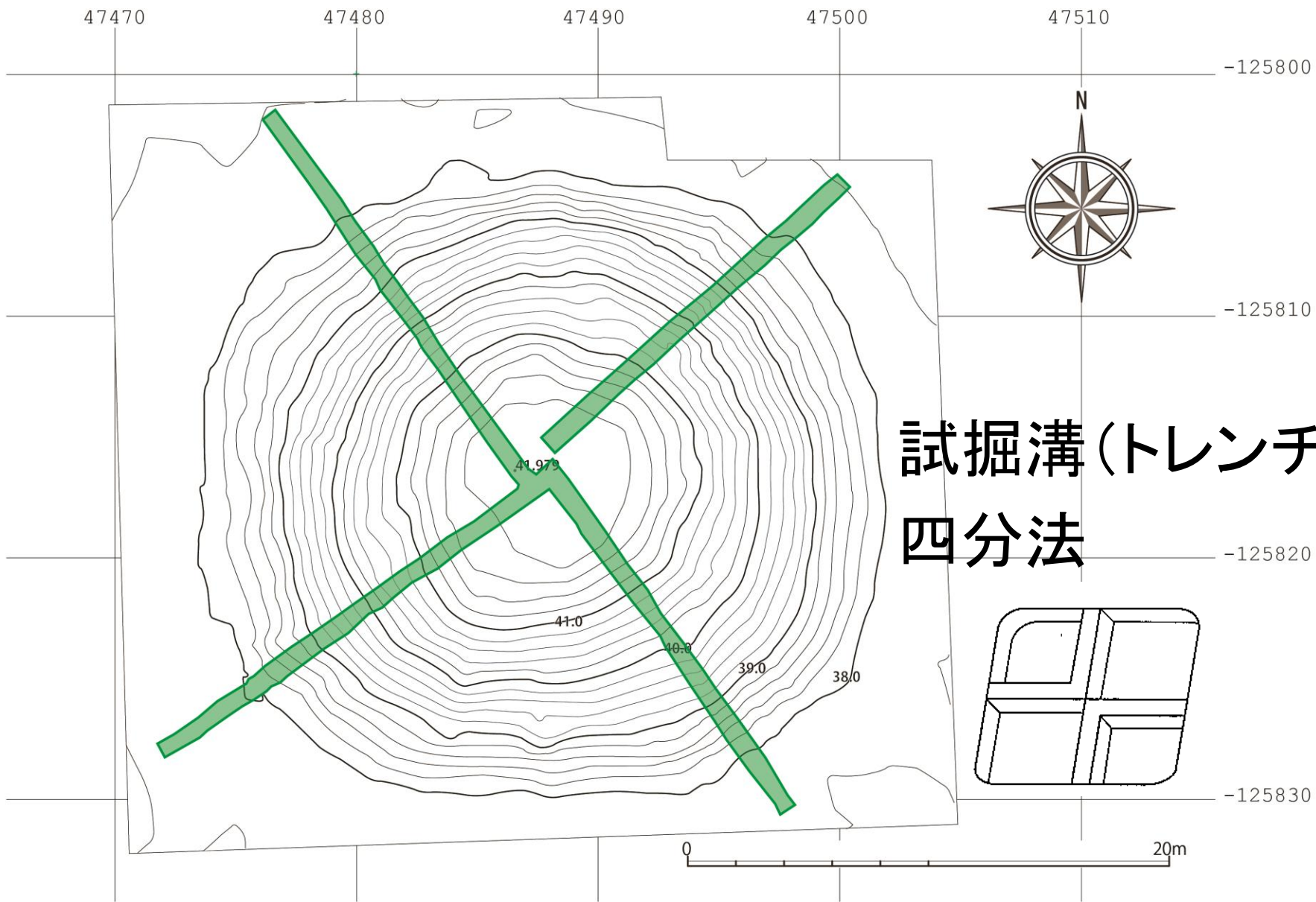
貴村大字平野字石丸一四三四番所在ノ古墳ニ関シ本會調査員ヲシテ調査セシメ候處別記写シノ通り復命候条相当御考慮相成度候也 (別記略)

昭和三年四月三十日稿了

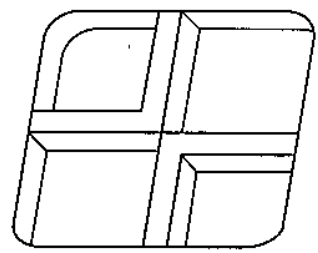
平成25年度第1次調査







試掘溝(トレンチ) 四分法



南西トレンチ



墳丘盛土

墓石

旧表土

↓ 周溝



昭和の整地層

周堤からの崩落土

周溝

初期の堆積層

地山(基盤層)







↓ このあたりから
須恵器出土

↑
新しい造成土
↓
攪乱





新しい整地土

攪乱

主体部の掘方

と期待していたが!

墳丘盛土

47470

47480

47490

47500

47510

-125800

-125810

-125820

-125830

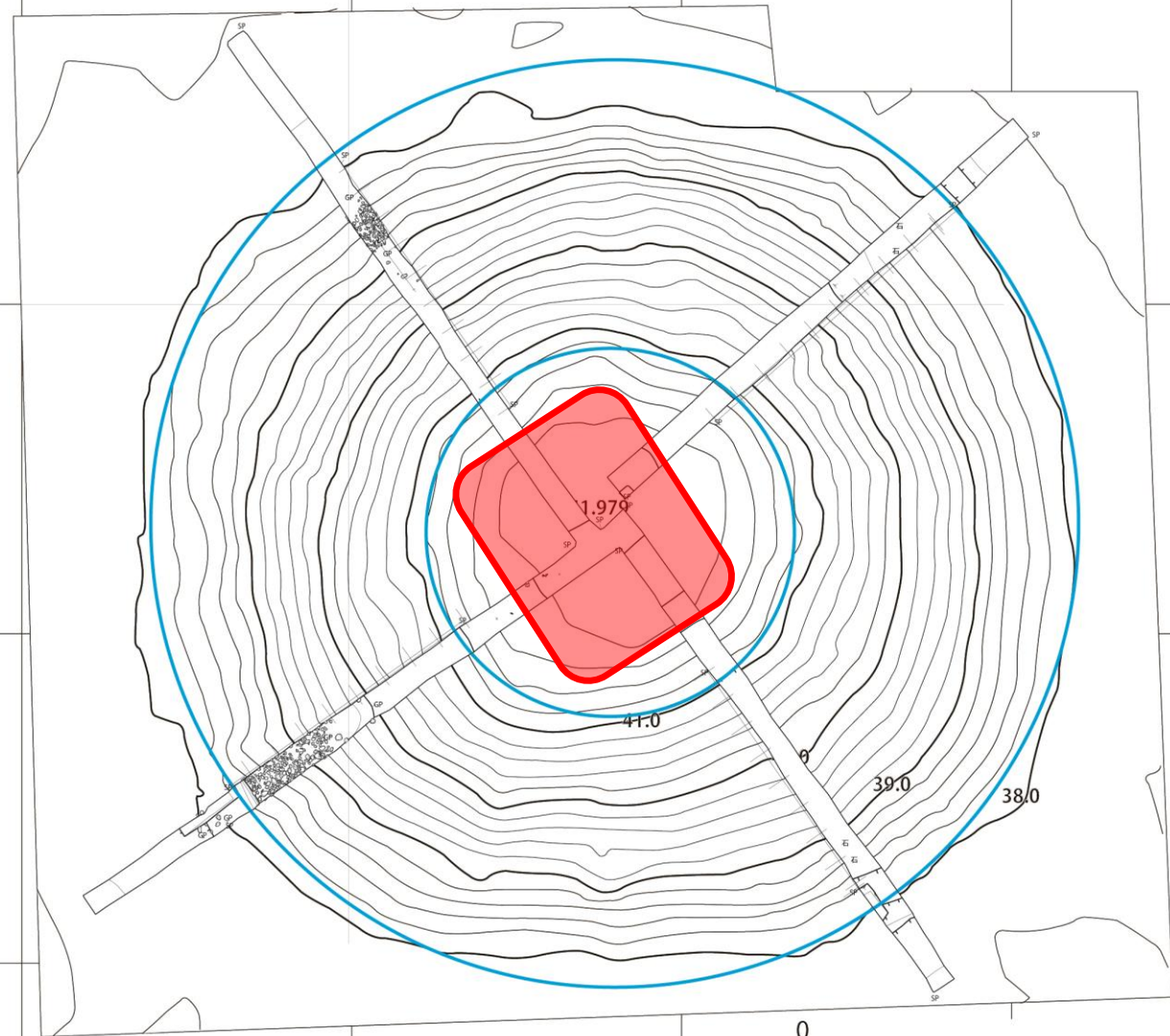
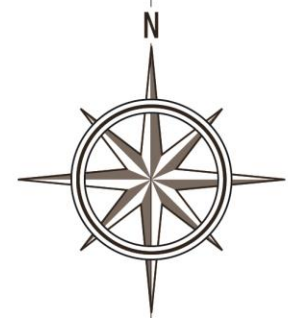
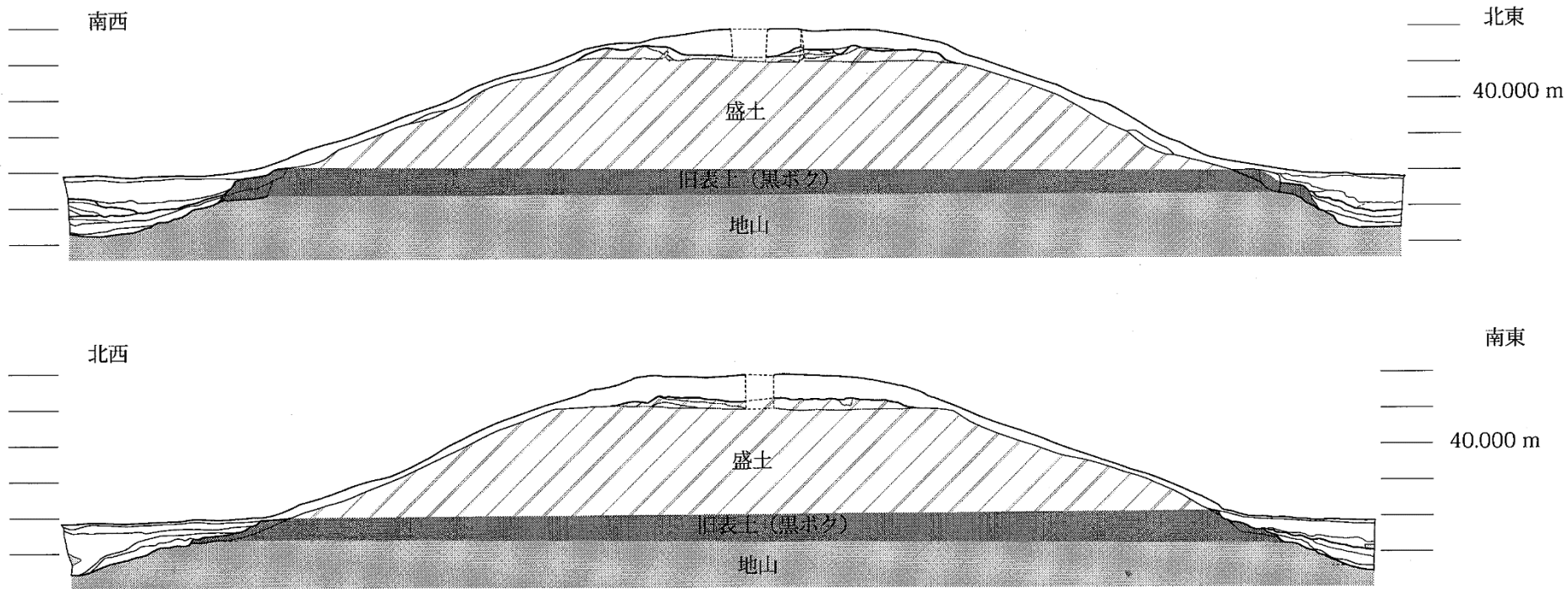
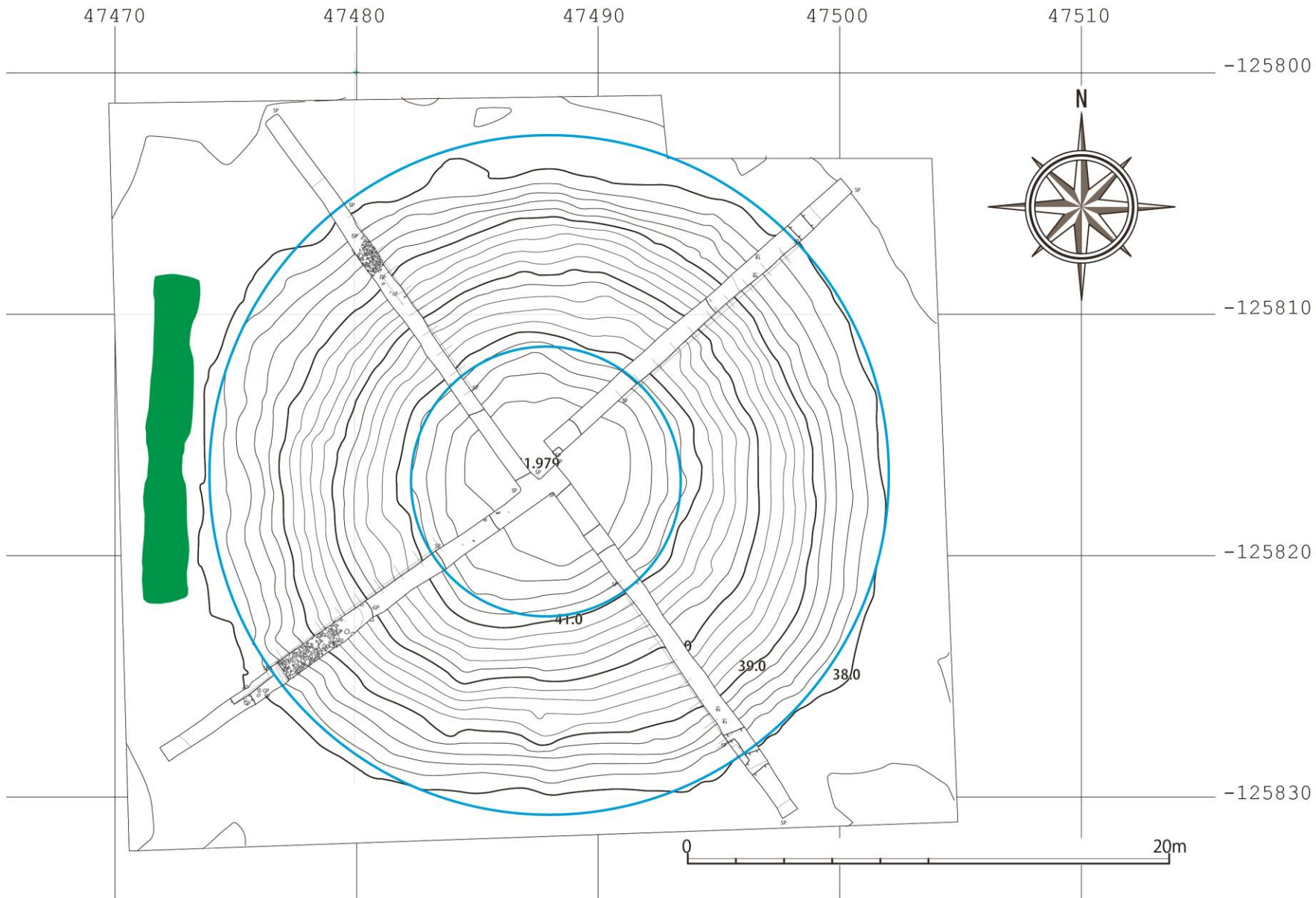


Fig.257 墳丘断面図 (1/200)



平成26年度第2次調査

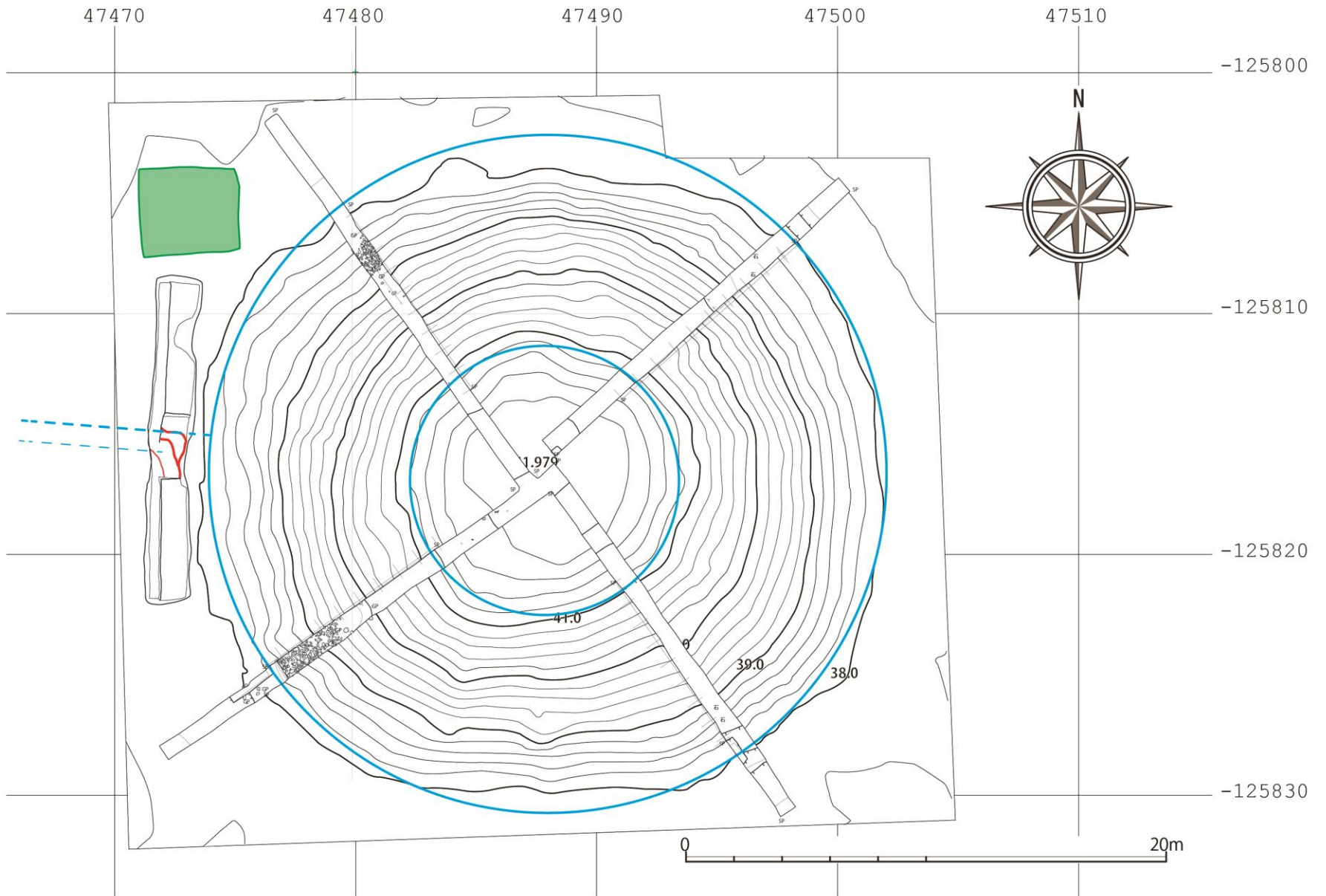





前方部

くびれ部

周溝



A photograph of a soil profile in a trench. The soil is dark brown and appears to be a loam or silt loam. Two white lines are drawn on the soil surface, starting from the bottom left and extending towards the top right. The line on the left is straight, while the line on the right is curved. The trench walls are visible on the left and right sides. The top of the trench is at the top of the image. The bottom of the trench is at the bottom of the image. The soil surface is uneven, with some small plants growing at the bottom left and bottom right. The labels '周溝' and '前方部' are written in white Japanese characters on the soil surface.

周溝

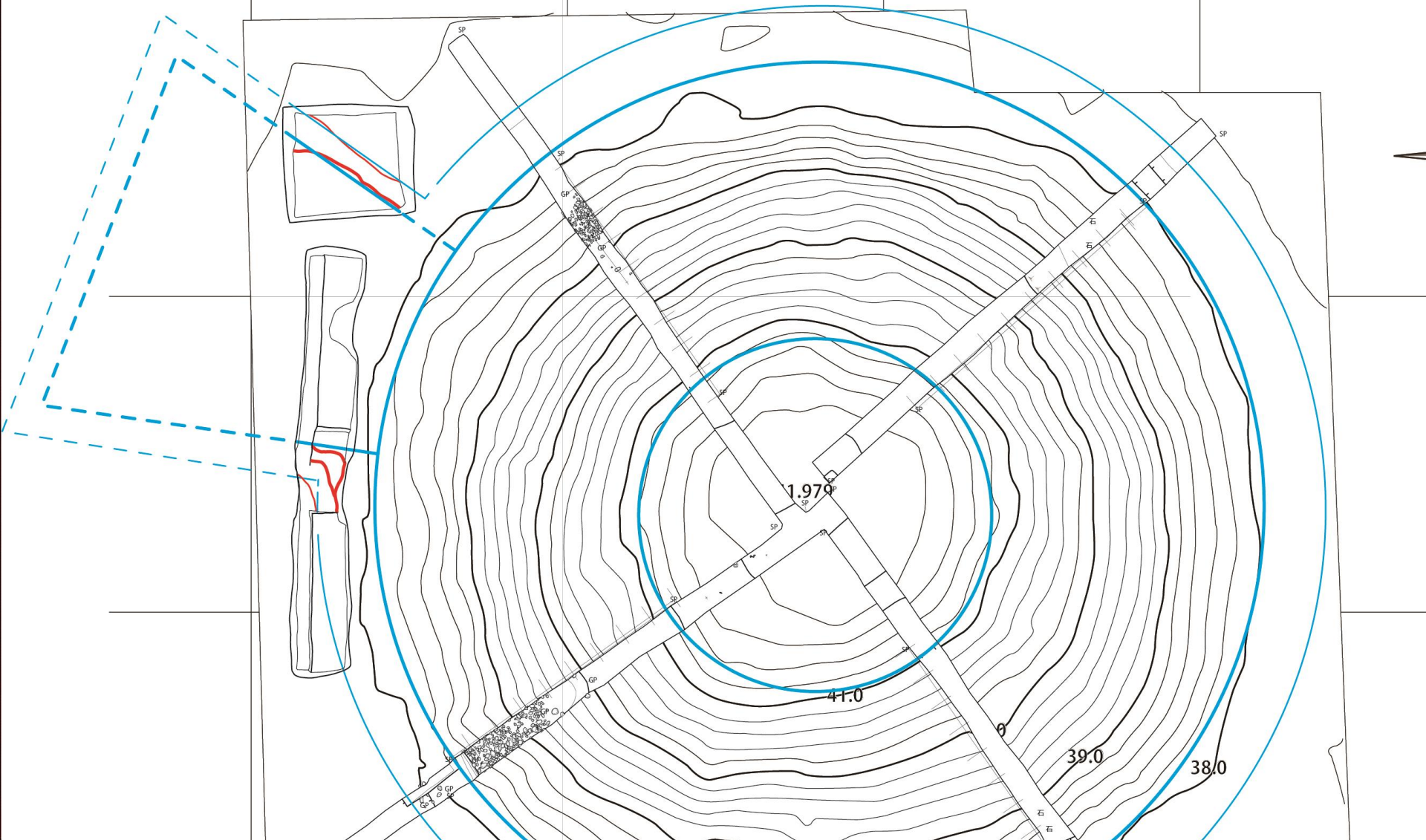
前方部

47470

47480

47490

47500



47470

47480

47490

47500

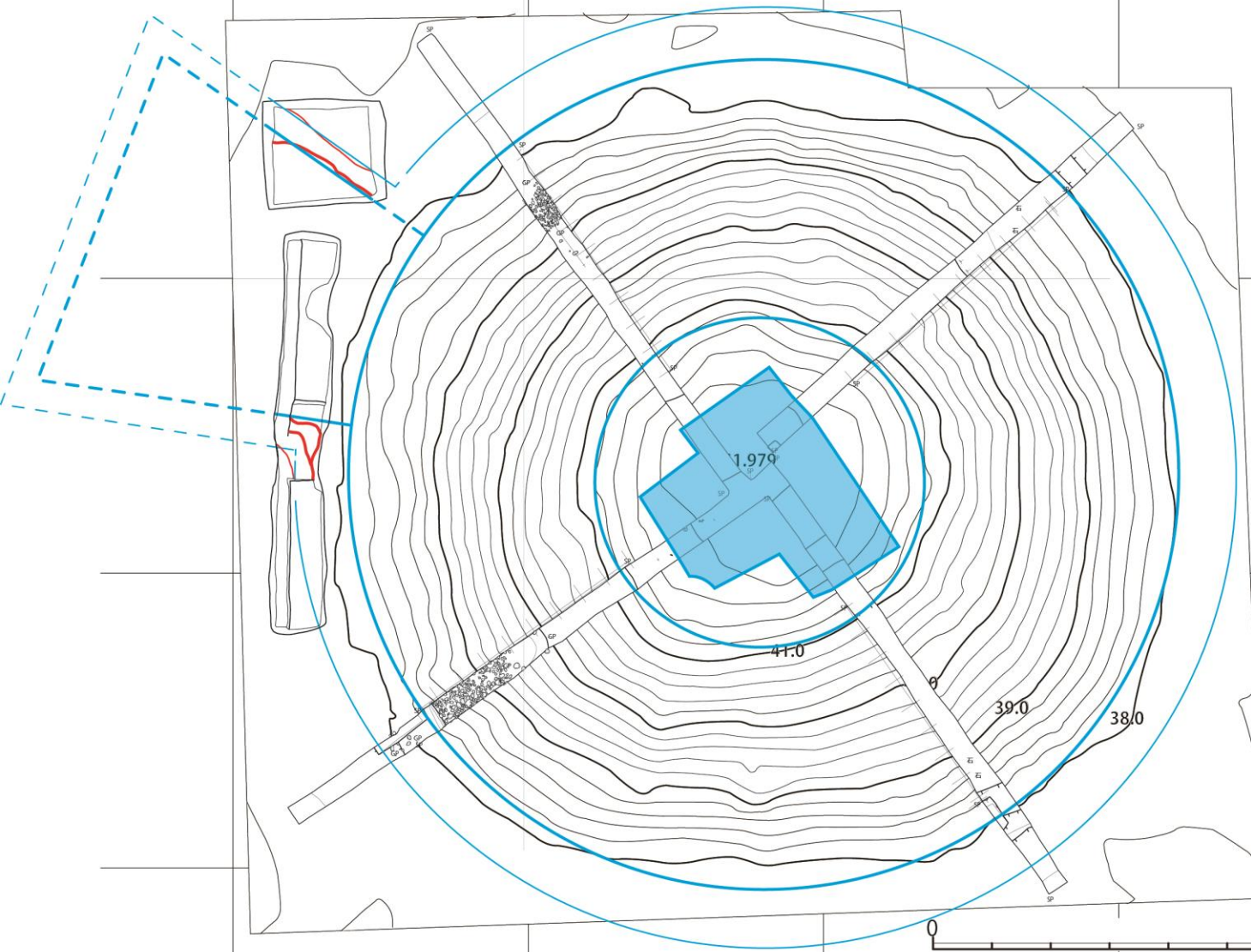
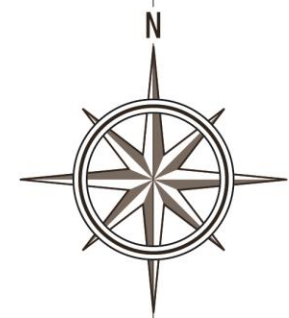
47510

-125

-125

-125

-125







盜掘坑1

現代攪亂

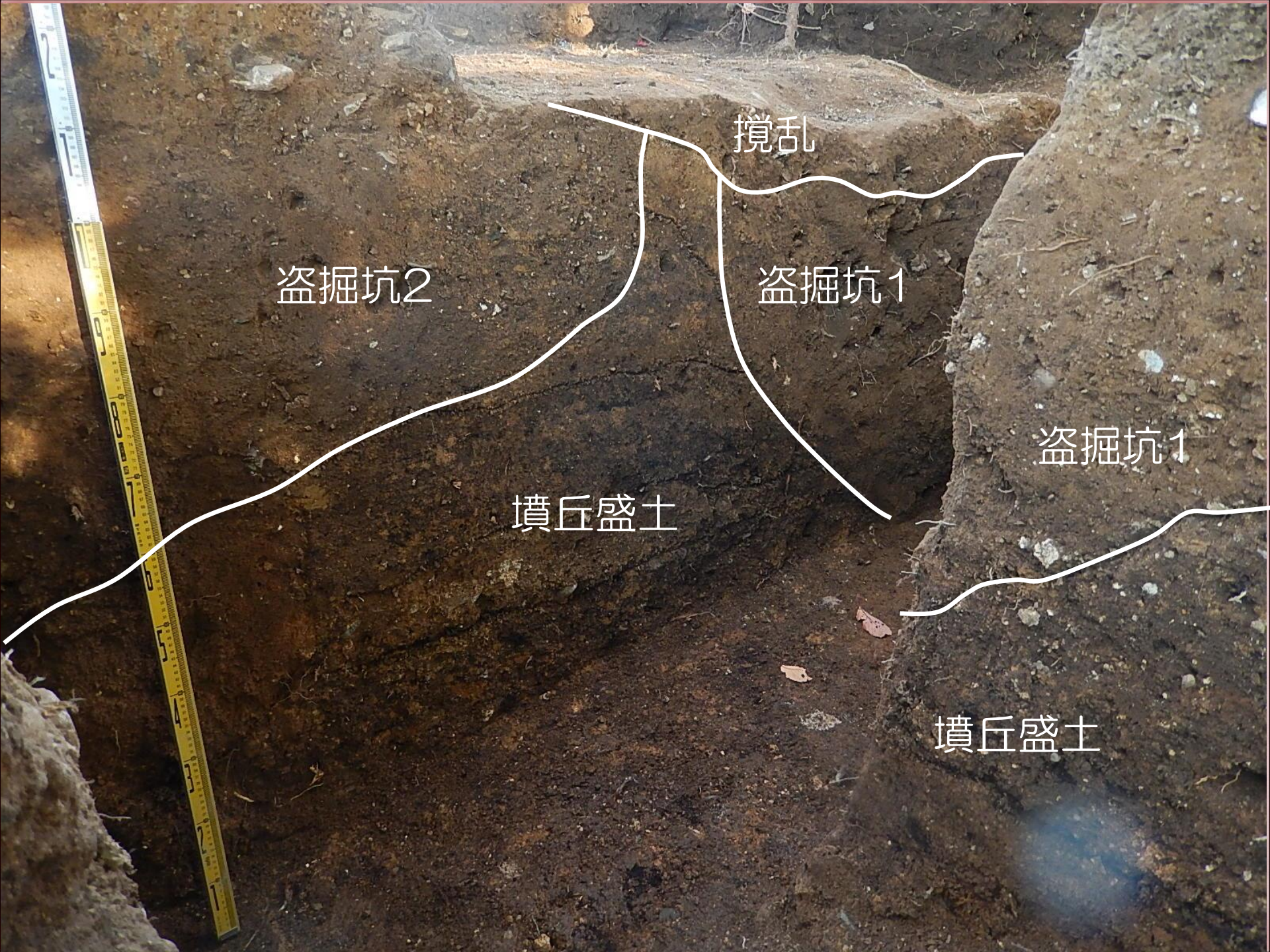
盜掘坑1

攪亂

盜掘坑1

墳丘盛土

攪亂



攪乱

盜掘坑2

盜掘坑1

盜掘坑1

墳丘盛土

墳丘盛土





粘土床

攪乱

盜掘坑

墳丘盛土

掘方

粘土床





墳丘盛土

墳丘盛土

盗掘坑2

盗掘坑1

攪乱

主体部

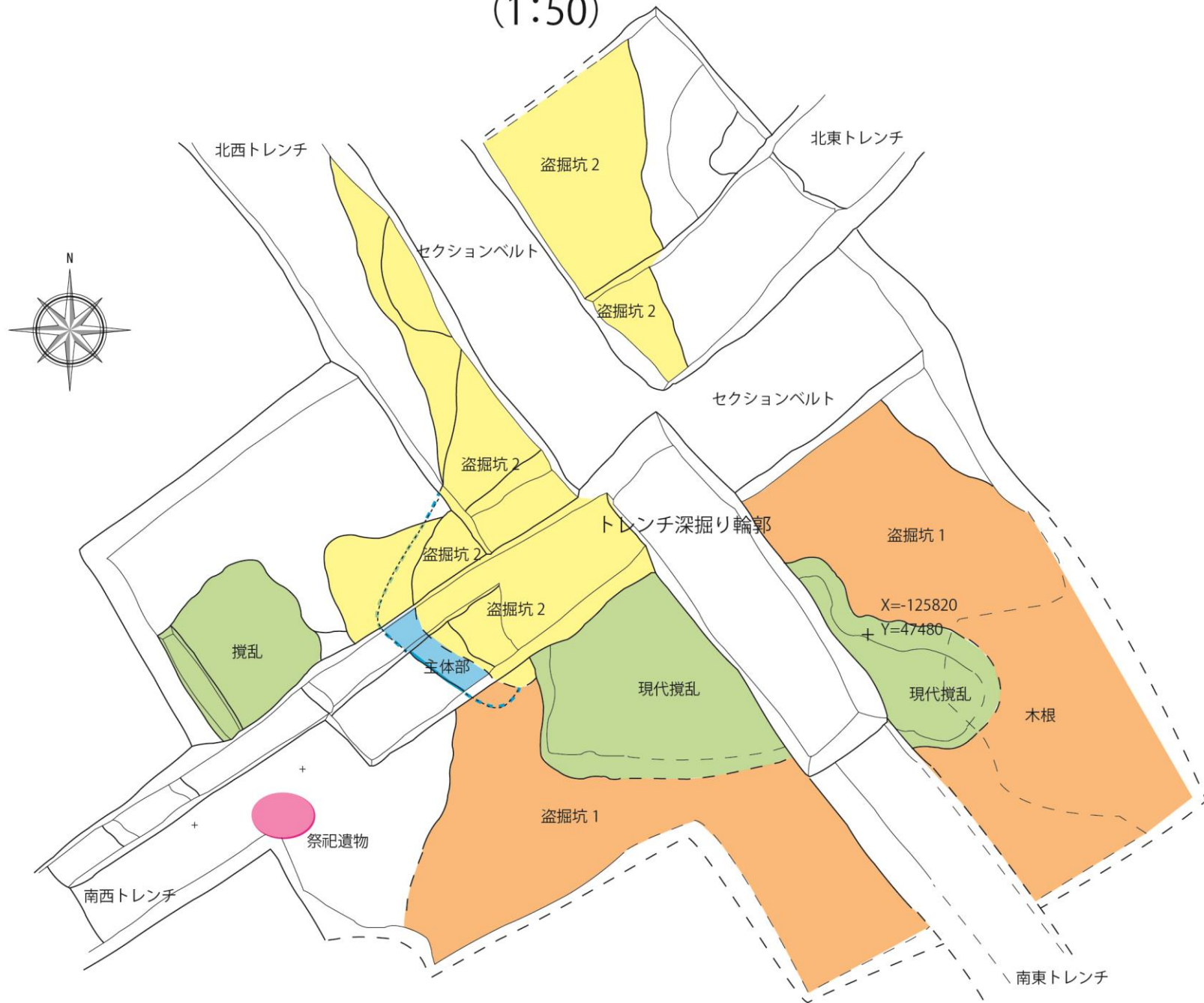
墳丘盛土

攪乱

盗掘坑1

石丸野1号墳主体部調査区遺構配置図

(1:50)





前方後円墳

幅が狭く短い前方部

葺石を施す

埴輪は見つからない

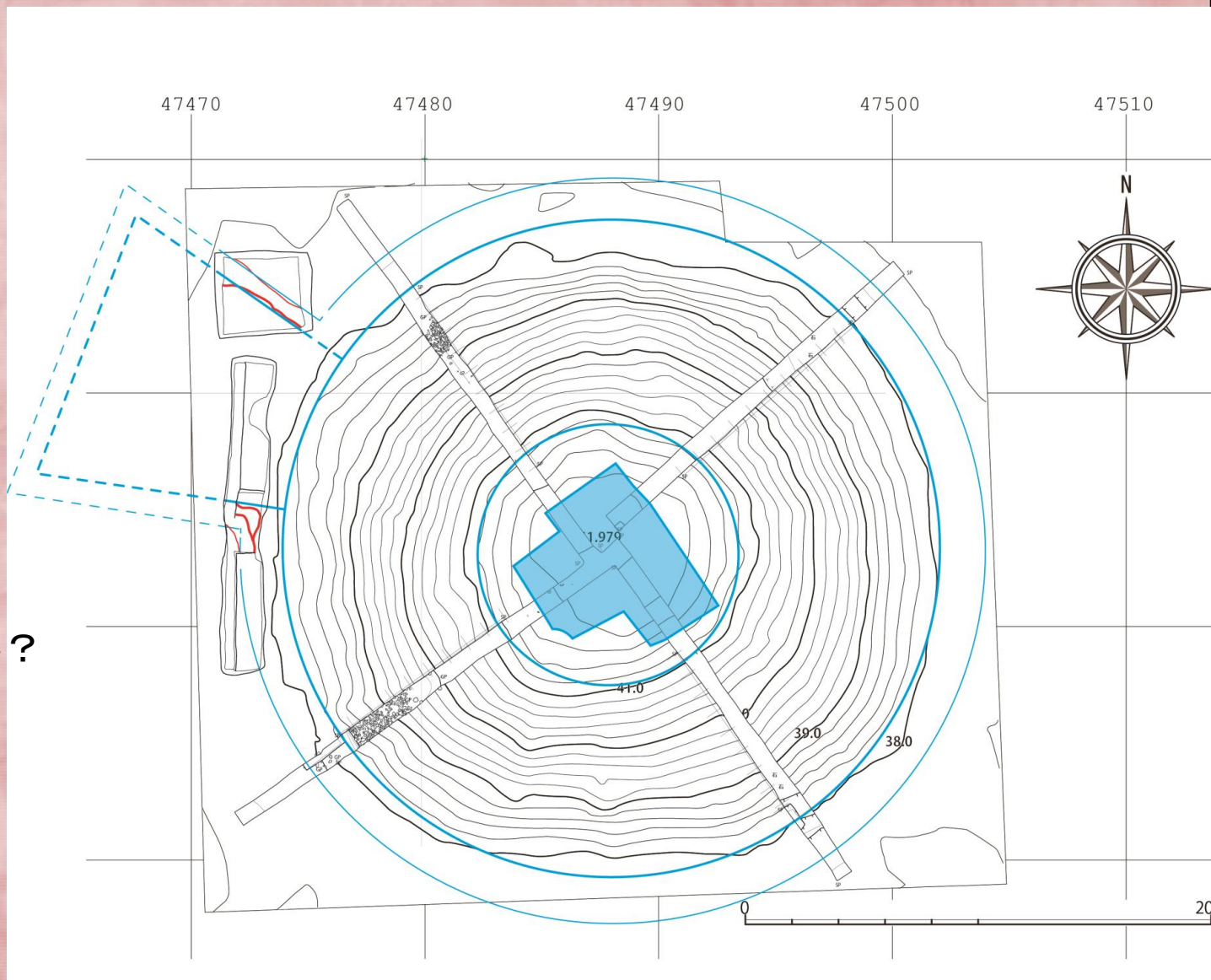
前方部は北西を向く

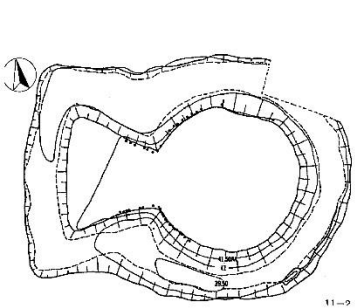
主体部は木棺直葬か？

墳頂部に祭祀遺構

6世紀初頭頃の築造

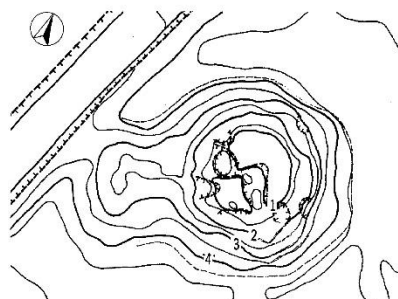
(周堤帯を持つ)





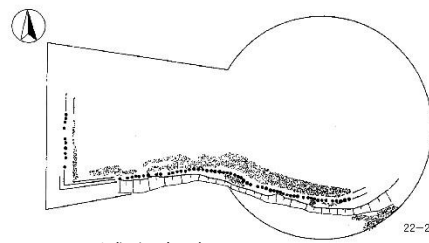
11-2

西高山2号墳



10-3

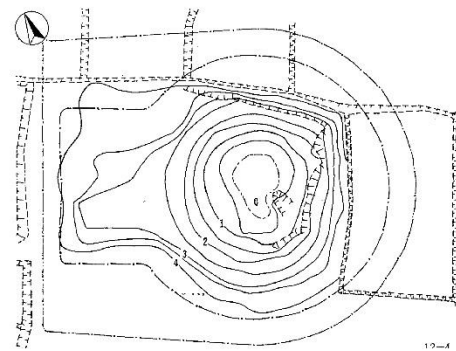
西ノ野5号墳



集 塚

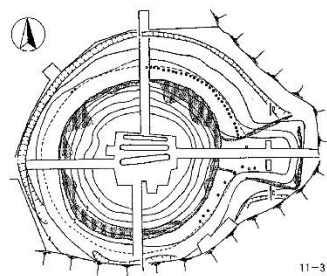
22-2

城山古墳



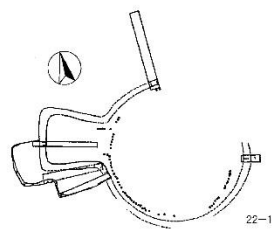
13-1

経塚古墳



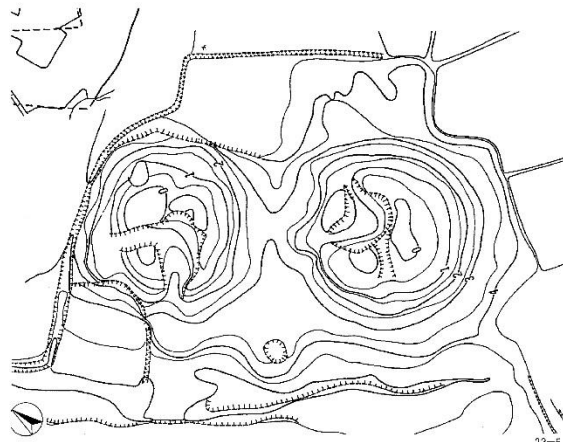
11-3

木ノ下古墳



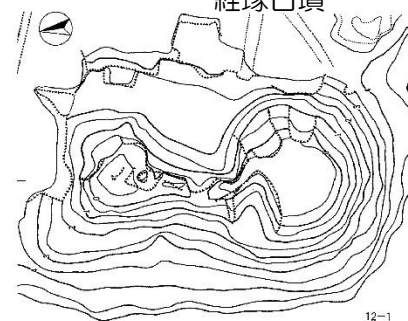
22-1

富士山10号墳



22-4

保子里1号墳



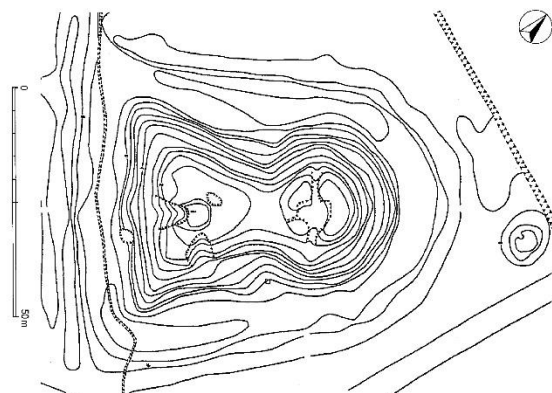
12-1

山下古墳

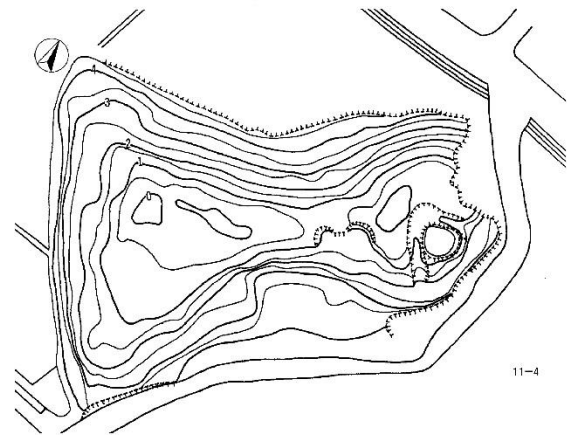


10-4

保子里2号墳



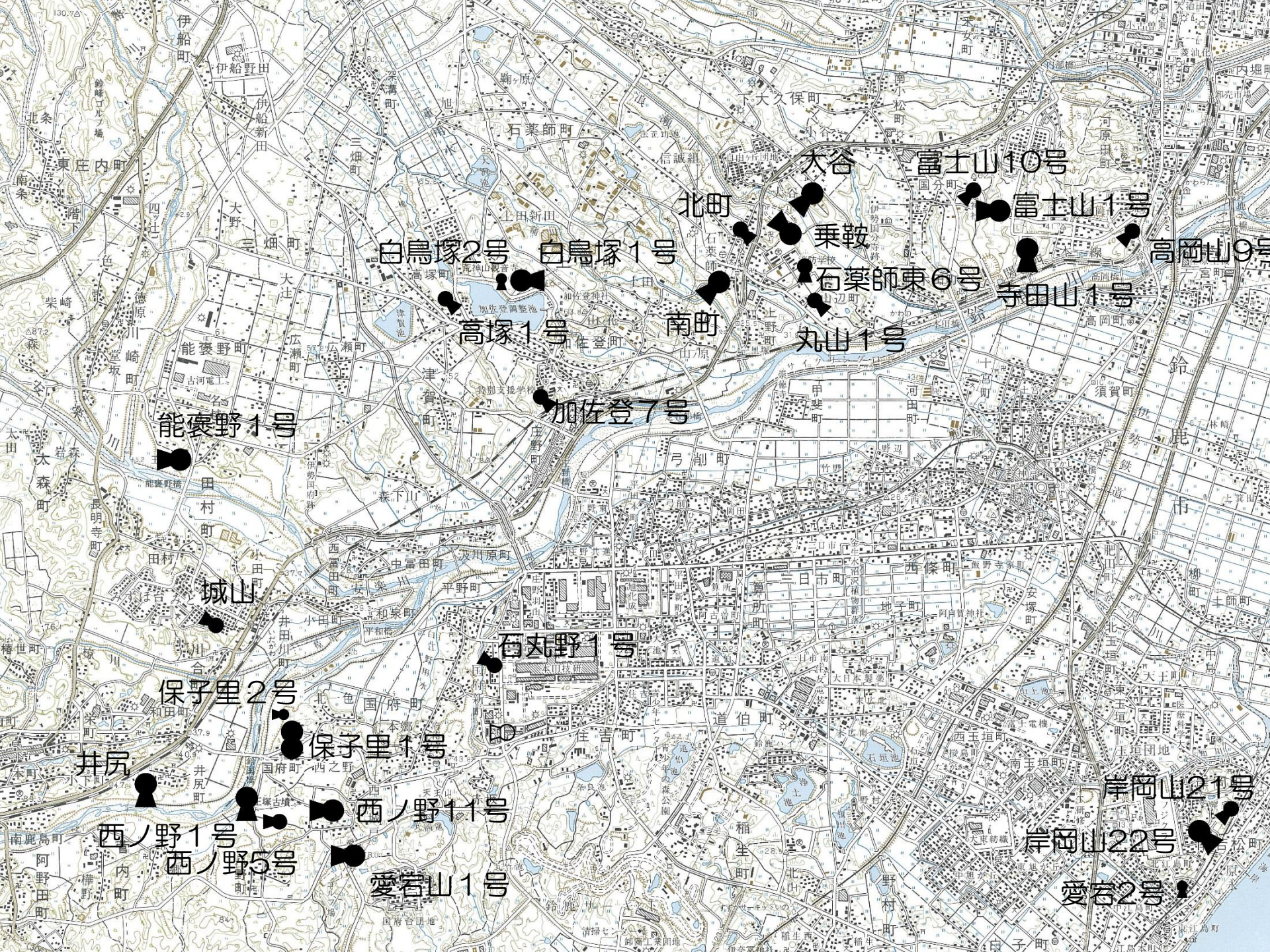
西ノ野1号墳(縮尺1/2)



11-4

井尻古墳

0 20m



富士山10号

富士山1号

高岡山9号

寺田山1号

乗鞍

石薬師東6号

丸山1号

南町

加佐登7号

高塚1号

白鳥塚2号 白鳥塚1号

能褒野1号

石丸野1号

保子里2号

保子里1号

西ノ野11号

西ノ野1号

西ノ野5号

愛宕山1号

岸岡山21号

岸岡山22号

愛宕2号

石丸野一号古墳

石丸野一号古墳

五世紀(約千五百年前)この付近を
石丸野といひ古墳群があった。
この古墳はもと全長四六八mの
前方後円墳であったが前方部を
失っている。後円部径二四三m
高一一〇m。浅間神社をまつつて
「富士山さん」と称している。
大ききから見ても相当有力な
古代豪族墓といえる。